

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の人たちとの関係をより密接なものとしたい。	地域の町内会、老人会との交流を深めることができる。	町内会や老人会に働きかけ、グループホームでの催事に招待し、交流を深める。あすなろの夏祭りについて地域に啓蒙し地元の人に存在をアピールし、交流の機会を増やせる。	6ヶ月
2	29	地域の社会資源を取り入れた個別の支援をより充実させたい。活用できる社会資源を調べていない。マンツーマンで余裕を持って外出できていない。	社会資源を活用し個別支援の充実を図ることができる。	公共機関を使用した個別の外出支援を行い、外出支援ノートに記入する。地区のコミュニティセンターの趣味講座を調べ、受講可能であれば参加する。入居者様の作品の展示を地区で行う。	8ヶ月
3	13 14	新入社員は介護業務に対し不安がある。職員に力量の差があり安心、安全な介護ができていないスタッフがいる。	職員の研修の充実を図ることができる。	自社グループで年間を通し、業務における総合的な研修と認知症の研修を行う。あすなろでの入居者に応じた業務マニュアルを見直し、わかりやすくする。外部研修への参加の機会を確保する。研修の情報をユニットでフィードバックする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。